

教科の概要（国語）

I. 目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- (3) 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

II. 観点別評価の規準と基準

	規 準		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	十分満足できる		
	言葉の特徴や使い方、話や文章に含まれている情報の扱い方、我が国の言語文化に関する知識及び技能など、生涯にわたる社会生活に必要な国語の特質について 的確に 理解し、それを 主体的かつ適切に使うことができる 。 【概ね達成率 80%以上】	互いの立場や考えを尊重し、言語を通して 的確に 理解したり 効果的に 表現したりして、円滑に相互伝達、相互理解を進め、一人一人が良好な人間関係づくりに積極的に関わろうとすることができる。また、言語を手掛かりとしながら創造的・論理的に考えたり、深く共感したり豊かに想像したりすることで、 主体的に新たな発想や思考を創造しようとすることができる 。 【概ね達成率 80%以上】	言葉がもつ価値への認識を 主体的に 深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言語を通して 積極的に 他者や社会に関わろうとすることができる。 【概ね達成率 80%以上】
B	おおむね満足できる		
	言葉の特徴や使い方、話や文章に含まれている情報の扱い方、我が国の言語文化に関する知識及び技能など、生涯にわたる社会生活に必要な国語の特質について 的確に 理解し、 適切に使うことができる 。 【概ね達成率 50%以上】	互いの立場や考えを尊重し、言語を通して 的確に 理解したり表現したりして、円滑に相互伝達、相互理解を進め、一人一人が良好な人間関係づくりに積極的に関わろうとすることができる。また、言語を手掛かりとしながら創造的・論理的に考えたり、深く共感したり豊かに想像したりすることで、 新たな発想や思考を創造しようとする ことができる。 【概ね達成率 50%以上】	言葉がもつ価値への認識を 自主的に 深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言語を通して 積極的に 他者や社会に関わろうとすることができる。 【概ね達成率 50%以上】
C	努力を要する		
	言葉の特徴や使い方、話や文章に含まれている情報の扱い方、我が国の言語文化に関する知識及び技能など、生涯にわたる社会生活に必要な国語の特質について理解することができる。	互いの立場や考えを尊重し、言語を通して理解したり表現したりして、円滑に相互伝達、相互理解を進め、一人一人が良好な人間関係づくりに積極的に関わろうとすることができる。また、言語を手掛かりとしながら創造的・論理的に考えたり、深く共感したり豊かに想像したりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言語を通して他者や社会に関わろうとすることができる。

(別表5)

I. 授業の概要

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	3	年次	1
使用教科書	現代の国語（筑摩書房）						
副教材等	新訂版国語便覧（浜島書店）／語彙力と読解力をつける現代文単語（数研出版） 進研ウィンステップ 現代文1〔三訂版〕（ラーンズ）／入試現代文へのアクセス基本編（河合出版）						

1. 学習の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2. 3 観点の評価規準

規 準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。
上記の規準に対して、「十分満足できる」場合は A, 「おおむね満足できる」場合は B, 「努力を要する」場合は C として評価する		
評 価 方 法		
ペーパーテスト等	ワークシート・発表等	行動観察・ポートフォリオ等

3. 学習内容

1 学期	問いかける力を伸ばす（4月） 意見文を書く（5月） 情報を正確に読み取る（5月） 書くことで世界とつながる（6月・7月）
2 学期	資料やデータを活用する（9月） 説得する言葉を身につける（10月） 隠された情報を読み解く（11月） 発信する力、受信する力を伸ばす（11月・12月）
3 学期	目的に沿って表現の細部を整える（1月） 筋道を立てて論述する（2月） 様々な視点から読み解く（2月・3月）

4. 学習方法

テストは年に5回(1学期中間・1学期期末・2学期中間・2学期期末・学年末)行われます。また定期的に文法力テストや古文単語テスト等を実施します。
また、定期的に以下の提出物がありますので、期限内に提出して下さい。
①誤答ノート(年5回の定期考査後など)
②意見文(1学期の評価対象)
④その他(月課題等)

(別表 5)

I. 授業の概要

教科	国語	科目	言語文化	単位数	2	年次	1
使用教科書	言語文化（筑摩書房）						
副教材等	巻頭増補版最新国語便覧（浜島書店） 語彙力と読解力をつける現代文単語（数研出版） わかる・読める・解ける Key&Point 古文単語 330 三訂版（いっずな書店） 基礎から学ぶ解析古典文法三訂版（桐原書店） 基礎から学ぶ解析古典文法三訂版演習ノート（桐原書店） 必携新明説漢文～句法と語彙を一緒に学ぶ～（尚文出版） 必携新明説漢文ノート～句法と語彙の定着を図る～修訂版（尚文出版） 進研ウィンステップ 現代文 1〔三訂版〕（ラーンズ） 進研ウィンステップ 古典 1〔三訂版〕（ラーンズ） 入試現代文へのアクセス基本編（河合出版）						

1. 学習の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2. 3観点の評価規準

規 準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとすることができる。
上記の規準に対して、「十分満足できる」場合は A、「おおむね満足できる」場合は B、「努力を要する」場合は C として評価する		
評 価 方 法		
ペーパーテスト等	ワークシート・発表等	行動観察・ポートフォリオ等

3. 学習内容

1 学期	古典への扉—古文入門【古】（4月） 漢文への扉—漢文入門【古】（5月） 漢語の特色—故事成語を読む【漢】（5月） 人間の普遍的な姿—物語を読む【漢】（6月） 自分という他者—日記を読む【古】（7月）
2 学期	言動に表れる人間の本質—史伝を読む【漢】（9月） 日本語の変遷—近代語の成立を知る【近】（9月） 想像力を開く世界—小説を読む【近】（9月） ことばに表れる意思—随想を読む【古】（10月） 転換期の文体と行動—軍記を読む【古】（11月） 韻文の表現（二）—唐詩を翻案する【漢】（11月） 読みつがれることば—中国古典思想を読む【漢】（12月） 韻文の表現（一）—和歌・俳諧を鑑賞する【古】（12月）
3 学期	多彩な表現とイメージ—随想を読む【近】（1月） 練り上げられた思考—評論を読む【古】（2月） 韻文の表現—詩歌を作る【近】（3月）

4. 学習方法

テストは年に5回（1学期中間・1学期期末・2学期中間・2学期期末・学年末）行われます。また定期的に文法力テストや古文単語テスト等を実施します。
また、定期的に以下の提出物がありますので、期限内に提出して下さい。 ①誤答ノート（年5回の定期考査後など） ②読書感想文（2学期の評価対象） ③その他（月課題等）